



Wakate News Letter vol.06

2009.1.8 発行

1. 活動報告

1) 第6回若手運営調整委員会

12/17 13:00- 総合研究棟 D311 室にて開催された

議題 I: 来年の若手主催国際会議について
若手中間報告会 11月16日(月)、17日(火)
国際会議 11月18日(水)、19日(木)
招待講演予定人数 海外2人、国内9-10人
会場 総合研究棟D116
招待講演者の人選などについて話し合った。

議題 II: 今年度のセミナー開催費用の余剰分について
今年度のセミナーの開催予定を早めに決定、施行する事となった。
来年度のセミナーについても、今年度同様各若手研究者が資金を拠出し、行う事となった。

2) セミナー (08年12月)

第20回: 2008年12月3日(金) 14:00 - 15:30

演題: Neural circuit underlying odor-evoked neural oscillations in *Drosophila*: Results from genetic, electrophysiological, and electron microscopic studies.

演者: 田中 暢明博士 (National Institute of Child Health and Human Development)

会場: 総合研究棟 A 棟 107 室 / 世話人: 丹羽隆介

第21回: 2008年12月17日(水) 16:00 - 17:30

演題: TGF- β シグナルの活性勾配形成機構のダイナミクスと形態形成の多様性

演者: 倉石 立博士 (慶應義塾大学・生物・准教授)

会場: 下田臨海実験センター / 世話人: 谷口俊介

3) 業績 (08年12月)

<原著論文>

Toshiki Namiki†, Ryusuke Niwa†, Atsushi Higuchi, Takuji Yoshiyama, Kazuei Mita and Hiroshi Kataoka
A basic-HLH transcription factor HLH54F is highly expressed in the prothoracic gland in the silkworm *Bombyx mori* and the fruit fly *Drosophila melanogaster*.
Biosci. Biotechnol. Biochem. in press.
†equal contribution.

<学会発表・招待講演>

永宗喜三郎

田原美智留、木下タロウ、永宗喜三郎
“トキソプラズマ原虫感染における宿主細胞 GPI アンカーの与える影響” (ポスター発表)
第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会合同大会 2008年12月、神戸ポートアイランド

三浦謙治

「SUMO E3 リガーゼ SIZ1 によるリン酸欠乏応答機構」
東京大学生物生産工学研究センター、文部科学省科学研究費特定領域研究「植物膜輸送」共催シンポジウム
2008年12月6日 東京大学、東京 (招待講演)

福田 綾

福田 綾、中太智義、嶋田美穂、久武幸司
「c-fos 遺伝子の新規転写コアクチベーターの同定と機能解析」 (ポスター発表)
第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会 合同大会 2008年12月、神戸ポートアイランド

福田 綾

久武幸司、嶋田美穂、中太智義、福田 綾
「MSK1 によるヒストン H3 リン酸化の制御機構」 (口頭発表、ポスター発表)
第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会 合同大会 2008年12月、神戸ポートアイランド

4) 外部資金獲得状況 (08年12月)

▼その他外部資金 財団等

<日本学術振興会 日仏交流促進事業<Sakura>共同研究>
八田佳孝: H21.4-H.23.3 (200万円)
High density QCD at LHC

<平成20年度研究助成金 財団法人 病態代謝研究会>
長谷川 潤: H20.12-H.21.11 (100万円)
痛み伝達における脂質性シグナルの生理的役割の解析

